

各種委員会活動報告

広報委員会

広報委員会 委員長 菊川 豪太（東北大学）
幹事 川村 洋介（名城大学）

1. 委員会構成

委員長：菊川 豪太（東北大学）、幹事：川村 洋介（名城大学）
委員：安藤 詩音（九州大学）、志村 敬彬（東京大学）、出島 一仁（滋賀県立大学）、
藤井 宏之（北海道大学）、三浦 正義（千葉工業大学）、李 敏赫（東京大学）

2. 委員会開催報告

2. 1 メール審議（～2024年3月14日）
 - ・ニュースレターNo. 100, 101, 102 発行のための審議（原稿収集、書式統合、著者および委員校正などの作業を分担し、多くの打合せを行った）。
 - ・次期体制および引継ぎの打合せおよび審議。
2. 2 第1回広報委員会（第101期&102期合同委員会）
日時・場所：2023年4月5日（金）にオンライン会議システムにて開催予定
議題：引継ぎ、第102期活動計画確認、ニュースレターNo. 103～105の内容について。

3. 活動報告

3. 1 ニュースレター発行
 - ・ニュースレター No. 101（12月号）を発行し部門ホームページで公開した。ニュースレター No. 102（4月号）は現在最終校正中である。
 - ・101期のニュースレター編集担当委員は、No. 100が志村委員、出島委員、No. 101が安藤委員、李委員、No. 102が藤井委員、三浦委員であった。
 - ・ニュースレターのコンテンツとして、各種行事案内と報告記事の他、TED Plazaに各号2報の特集記事を掲載した。
3. 2 部門ホームページの更新・維持管理
 - ・部門ホームページのコンテンツを逐次、最新情報に更新した。
 - ・部門概要、部門長挨拶、委員会名簿、行事予定、部門賞、新着情報掲載欄の維持管理を行った。
3. 3 インフォメーションメールの運用
 - ・2023年4月～9月までは96件、2023年10月～2024年3月現在までは下記の通り67件のインフォメーションメール配信を行った。

4. 102期広報委員会構成

委員長：岡島 淳之介（東北大学）、幹事：李 敏赫（東京大学）
委員：梅原 裕太郎（九州大学）、岡部 貴雄（東京大学）、金野 佑亮（北海道大学）、
橋本 将明（慶應義塾大学）、森本 崇志（青山学院大学）、山崎 拓也（豊橋技術科学大学）

	配信日	配信元組織	配信先組織	タイトル
1	2024/3/8	エンジンシステム	熱工学, 機械力学・計測制御, ロボティクス・メカトロニクス, 交通・物流	【教員公募】北海道大学 大学院工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 教員公募
2	2024/3/6	流体工学	計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	【受付開始】講習会「流体とインフォーマティクス」のご案内
3	2024/3/5	計算力学	熱工学, 動力エネルギーシステム, 産業・化学機械と安全, 宇宙工学	オンライン講習会「機械材料・材料加工のシミュレーション・計測と力学(第4回: 材料への治療・修復機能付与)」のご案内
4	2024/3/4	熱工学	熱工学, 計算力学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	2023年度第4回燃焼工学講座のご案内(本会協賛・日本燃焼学会主催)ーオンライン開催ー
5	2024/3/1	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.24-28 講習会「IDCAEスクール:1Dモデリングセミナー(2024年度) 第1回:1DCAEと1Dモデリング ～概論と基礎理論～」開催のご案内
6	2024/2/29	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	【締切延長3/18まで】第34回環境工学総合シンポジウム2024
7	2024/2/29	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	締切延長3/11まで】第32回環境工学総合シンポジウム2022
8	2024/2/22	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 環境工学	動エネシンポ講演申込み受付延長のご案内【締切延長:3/1(金)】
9	2024/2/22	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, ロボティクス・メカトロニクス	FDR2024発表募集のご案内
10	2024/2/21	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	第34回環境工学総合シンポジウム2024【好評申込受付中】
11	2024/2/20	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, 環境工学, 技術と社会	カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵技術研究会報告会(蓄エネ研セミナー)開催案内
12	2024/2/19	熱工学	熱工学, 流体工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切:3/13(水)】第27.0回相変化界面研究会(3/18(月)15:00-16:30)のご案内
13	2024/2/16	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, 環境工学, 技術と社会	エネルギーストレージベストミックスのための意見の公表
14	2024/2/10	熱工学	熱工学	新たな熱工学部門一般表彰(躍進研究者表彰&若手講演表彰)設置のご案内
15	2024/1/24	熱工学	熱工学	第5回ナノ・マイクロ熱ふく射国際ワークショップ(NanoRad2024)のご案内
16	2024/1/17	熱工学	熱工学, 計算力学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	2023年度第3回燃焼工学講座のご案内(本会協賛・日本燃焼学会主催)ーオンライン開催ー
17	2024/1/15	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.23-37 講習会「IDCAEスクール:1Dモデリングセミナー(2023年度)第6回:モデリングとデザイン ～その方法と効果～」開催のご案内
18	2024/1/15	材料力学	流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御, ロボティクス・メカトロニクス	【教員公募】京都大学大学院工学研究科 機械理工学専攻/マイクロエンジニアリング専攻 助教の公募(女性限定)
19	2024/1/11	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 宇宙工学	【締切延長:1/17】第57回空気調和・冷凍連合講演会
20	2024/1/10	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	【講演申込開始】第34回環境工学総合シンポジウム2024
21	2024/1/9	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 環境工学	動エネシンポ講演申込み受付開始のご案内【締切:2/23(金)】
22	2024/1/5	熱工学	熱工学, 流体工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切:1/26(金)】第26.5回相変化界面研究会:オンライン講演会(1/30(火)15:00-16:30)のご案内
23	2023/12/26	熱工学	熱工学	【締切延長1/15】第3回アジア熱科学会議(3rd ACTS)
24	2023/12/26	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 宇宙工学	【講演申込締切1/10】第57回空気調和・冷凍連合講演会
25	2023/12/26	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.23-118講習会「設計力UP! CAE活用術」～デジタル技術駆使の開発設計 現状紹介～開催のご案内
26	2023/12/26	熱工学	熱工学, 流体工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切:1/5(金)】Prof. Matteo Bucci (MIT, USA)講演会のご案内,1月10日(水) 16:00
27	2023/12/8	流体工学	計算力学, 熱工学, マイクロ・ナノ工学	【教員公募】東北大学 流体科学研究所 准教授公募
28	2023/12/7	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	ICONE31講演募集(アブストラクト投稿期限:12/13(水))のご案内
29	2023/12/6	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.23-129 講習会「IDCAEスクール:デザイン演習(2023年度)第3回:『電気でも動く車をデザインする』」開催のご案内
30	2023/12/5	熱工学	熱工学	【12/15締切】第3回アジア熱科学会議(3rd ACTS)へのお誘い
31	2023/12/5	環境工学	熱工学, 動力エネルギーシステム	題目:「サーモインフォーマティクス研究会」第6回研究会(対面)のお知らせ
32	2023/12/4	流体工学	熱工学, 機素潤滑設計, 情報・知能・精密機器, マイクロ・ナノ工学	【教員公募】名古屋大学工学研究科マイクロ・ナノ機械理工学専攻 教授の公募(流動分野)
33	2023/12/1	流体工学	熱工学, 機械力学・計測制御, ロボティクス・メカトロニクス, 技術と社会	理科教室「空気や水のふしぎを体験してみよう!」開催のお知らせ
34	2023/11/30	熱工学	熱工学, 流体工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切:12/17(日)】第26.0回相変化界面研究会(12/21(木)15:00-16:30)のご案内
35	2023/12/1	熱工学	熱工学	熱工学部門ニュースレターNo.101発行のお知らせ
36	2023/11/28	熱工学	熱工学	日本熱物性学会 セミナーシリーズ 第5回「高温での材料プロセスのシミュレーションと熱物性」のご案内
37	2023/11/24	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.23-117 講習会「VE/VRを用いた設計・開発・ものづくりの新しい検討手法の紹介」開催のご案内
38	2023/11/24	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.23-108 講習会「最適設計法の基礎数理」開催のご案内
39	2023/11/21	熱工学	熱工学	第7回ASMEマイクロナノ熱物質輸送国際会議(MNHMT2024)のご案内
40	2023/11/21	流体工学	計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	【教員公募】豊橋技術科学大学 機械工学系 環境・エネルギー分野 助教公募
41	2023/11/17	熱工学	熱工学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム, 環境工学	【教員公募】東北大学 大学院工学研究科 機械機能創成専攻 助教の公募
42	2023/11/15	流体工学	熱工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム, 環境工学	【好評受付中】「空力騒音入門講座 騒音計測の基礎と実例」のご案内
43	2023/11/15	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【開催案内】第31回原子力工学国際会議(ICONE31)
44	2023/11/14	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	講演会「IDCAE・MBDシンポジウム2023」参加登録のご案内
45	2023/11/13	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.23-129 講習会「IDCAEスクール:デザイン演習(2023年度)第3回:『電気でも動く車をデザインする』」開催のご案内
46	2023/11/13	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	講習会No.23-124f 往復動内燃機関の研究開発に関わる計測と数値解析技術に関する講習会」開催のご案内
47	2023/11/9	環境工学	計算力学, 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム	(参加登録延長)水・蒸気性質シンポジウム2023
48	2023/11/8	熱工学	熱工学, 計算力学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	2023年度第2回燃焼工学講座のご案内(本会協賛・日本燃焼学会主催)ーオンライン開催ー
49	2023/11/6	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.23-37 講習会「IDCAEスクール:1Dモデリングセミナー(2023年度)第6回:モデリングとデザイン ～その方法と効果～」開催のご案内
50	2023/11/6	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.23-36 講習会「IDCAEスクール:1Dモデリングセミナー(2023年度)第5回:制御系のモデリング ～PID制御を中心として～」開催のご案内

51	2023/11/6	熱工学	熱工学	2024年度年次大会におけるOS、特別行事企画の募集について
52	2023/11/1	環境工学	流体工学、熱工学、動力エネルギーシステム、機械力学・計測制御	(残席あり)講習会「プログラミングで学ぶ熱物性－ステップアップ編－」..
53	2023/10/31	環境工学	流体工学、熱工学、機械力学・計測制御、技術と社会	NEE研究会第27回講演討論会のご案内
54	2023/10/30	環境工学	流体工学、熱工学、動力エネルギーシステム、産業・化学機械と安全	(残席あり)No.23-119講習会「低炭素社会実現に向けた最新技術」
55	2023/10/27	設計工学・システム	材料力学、流体工学、熱工学、機械力学・計測制御	講演会「1DCAE・MBDシンポジウム2023」参加登録のご案内
56	2023/10/25	環境工学	機械材料・材料加工、流体工学、熱工学、産業・化学機械と安全	2023年度静電気学会講習会「静電気災害の事例と対策(1)(2)」のご案内
57	2023/10/24	熱工学	熱工学、流体工学、動力エネルギーシステム	【登録〆切:11/12(日)】第25.5回相変化界面研究会(11/16(木)15:00-16:30)のご案内
58	2023/10/19	設計工学・システム	材料力学、流体工学、熱工学、機械力学・計測制御	No.23-118講習会「設計力UP! CAE活用術」～デジタル技術駆使の開発設計現状紹介～開催のご案内
59	2023/10/19	設計工学・システム	材料力学、流体工学、熱工学、機械力学・計測制御	No.23-117 講習会「VE/VRを用いた設計・開発・ものづくりの新しい検討手法の紹介」開催のご案内
60	2023/10/17	熱工学	熱工学、流体工学、エンジンシステム、動力エネルギーシステム、マイクロ・ナノ工学	PIV講習会のご案内
61	2023/10/16	流体工学	熱工学、エンジンシステム、動力エネルギーシステム、環境工学	【申込開始】「空力騒音入門講座 騒音計測の基礎と実例」のご案内
62	2023/10/13	環境工学	流体工学、熱工学、動力エネルギーシステム、産業・化学機械と安全	(開催案内)No.23-119講習会「低炭素社会実現に向けた最新技術」
63	2023/10/10	熱工学	熱工学	第3回アジア熱科学会議(3rd ACTS)のご案内
64	2023/10/4	環境工学	流体工学、熱工学、動力エネルギーシステム、産業・化学機械と安全	(10/9締切・残席あり)エコクリーンピアはりまと播磨中継施設の見学会
65	2023/10/2	設計工学・システム	材料力学、流体工学、熱工学、機械力学・計測制御	No.23-108 講習会「最適設計法の基礎数理」開催のご案内
66	2023/10/2	計算力学	バイオエンジニアリング、材料力学、流体工学、熱工学	第36回計算力学講演会 (CMD2023) 事前参加登録のご案内 (リマインド)
67	2023/10/2	設計工学・システム	材料力学、流体工学、熱工学、機械力学・計測制御	講演会「1DCAE・MBDシンポジウム2023」発表申込み延長のご案内(締切10/13)

以上.

部門賞委員会

委員長 鹿園 直毅
幹事 浅岡 龍徳

構成員：鹿園直毅（委員長）、高橋厚史（部門長）、店橋護（前部門長）、浅岡龍徳（幹事）、
畠山友行（前委員会幹事、オブザーバー）、以上敬称略

1. 委員会の開催

第1回委員会 日時：2023年5月12日（金）14:30-15:00

会場：Web会議

議事：委員会の年間予定と推薦手続きの確認

第2回委員会 日時：2023年7月5日（水）13:30-15:00

会場：Web会議

議事：フェロー候補者の選考、部門賞候補の検討

第3回委員会 日時：2023年9月26日（火）13:30-15:00

会場：Web会議

議事：部門賞・部門一般表彰（貢献表彰）候補者の選出

第4回委員会 日時：2024年1月19日（金）13:30-15:00

会場：Web会議

議事：部門賞・部門一般表彰（貢献表彰）候補者の決定

若手優秀講演フェロー賞候補者の決定

2. フェロー候補者の推薦（学会への提出締切り9月15日）

- (1) フェロー候補者の推薦について、今期は熱工学部門のフェロー組織推薦定数は2名であること、組織推薦定数を超えた推薦は一般推薦枠として審議されることを確認。結果、部門推薦定数2名に加えて、一般推薦枠として2名、合計4名を推薦することを決定。
- (2) 前期の候補者をふまえて、委員長と幹事は候補者リストを作成（6月末）。
- (3) 幹事はそのリストを（幹事を除く）3名の部門賞委員会委員に送り、委員には「そのリストから、あるいはリスト外から委員推薦の候補者を選び、幹事宛に投票するように」依頼。
- (4) 幹事は投票結果を集計し、その結果をもとに第2回部門賞委員会において、部門推薦定数2名と一般推薦定数2名を審議・決定した後、第2回総務委員会において諮った（7月5日）。
- (5) 幹事より、総務委員会で同意が得られた推薦候補者に、部門・一般推薦の候補者となっていただくように依頼した（7月）。
- (6) 委員長・部門長・幹事は、最終的に推薦書を取りまとめ、学会本部にHPより提出し

た (9月14日).

(7) 機械学会事務局より自動返信メールが部門長宛に送信された。

3. 部門賞, 部門一般表彰候補者の推薦

- ・ 運営委員会構成員には第1回運営委員会にて推薦を依頼。7月に部門ホームページに推薦依頼を掲載。また, 同時にインフォメーションメールで部門登録会員全員に推薦依頼 (締切りは8月31日)。
- ・ 第3回部門賞委員会で部門賞・部門一般表彰候補者の選定を行った。

4. 若手優秀講演フェロー賞候補者の推薦

- ・ 若手優秀講演フェロー賞推薦に関して, 年次大会 (都立大大学), 熱工学コンファレンス (神戸大学) の委員長に推薦を依頼した。なお, 依頼時に「評価プロセス手順」「評価フォーム」を併せて送付。

※本年度は年次大会および熱工学コンファレンスとも対面開催であるため, 従来どおりのエクセルシートで作成した評価フォームによって評価を行った。

5. 部門賞・部門一般表彰

●部門賞

・ 国際功績賞 (Thermal Engineering Award for International Activity)

○藤田 修 (北海道大学・教授)

理由: 熱工学, 特に燃焼に関わる教育と研究に従事し, 微小重力燃焼や高温空気燃焼などで国際プロジェクト研究を先導するなど, 燃焼研究の国際展開と基礎燃焼工学の発展に寄与する業績を挙げた。

・ 研究功績賞 (Thermal Engineering Award for Outstanding Academic Contribution)

○鶴田 隆治 (西日本工業大学・学長)

理由: 熱工学, 特に相変化を伴う伝熱に関する教育と研究に従事し, 高熱流束域での沸騰や凝縮, 気液界面の分子境界条件, 食品の乾燥や凍結など, 伝熱工学の発展に寄与する業績を挙げた。

○須賀 一彦 (大阪公立大学大学・教授)

理由: 熱工学, 特に乱流伝熱に関わる教育と研究に従事し, 乱流伝熱モデリングや格子ボルツマン法などの数値解析手法, および実験や数値解析による多孔体乱流伝熱のメカニズムの解明など, 乱流熱工学の発展に寄与する業績を挙げた。

・ 業績賞 (Thermal Engineering Achievement Award)

○津島 将司 (大阪大学・教授)

理由: 熱工学, とりわけ電気化学デバイスにおける多孔質電極内反応輸送現象の解明ならびにその促進と制御など, 電気化学エネルギー変換分野における研究業績が顕著である。

●部門一般表彰

・ 貢献表彰 (Certificate of Merit for Thermal Engineering Contribution)

○浅野 等 (神戸大学・教授)

理由: 熱工学, とりわけ相変化を伴う熱流動現象, 冷凍空調および機器冷却技術の分野での研究への貢献, ならびに熱工学部門活動に対する貢献が顕著である。

○迫田 直也 (九州大学・准教授)

理由: 熱工学, とりわけ高圧水素や冷凍空調機器における新規作動流体といった流体熱物性に関する分野での研究への貢献, ならびに熱工学部門活動に対する貢献が顕著である。

○千足 昇平 (東京大学・准教授)

理由：熱工学、とりわけナノ・マイクロ熱工学分野におけるナノ材料・ナノ構造体の創成やナノスケール現象に関わる研究への貢献、ならびに熱工学部門活動に対する貢献が顕著である。

●若手優秀講演フェロー賞

(注：○印が登壇者、原則として発表の翌年度の4月1日現在で26歳未満の会員が表彰対象)

1. 2023年度年次大会講演会 (審査対象発表15件, 贈賞数は0件)

2. 熱工学コンファレンス2023 (審査対象発表111件, 贈賞数は5件)

講演番号：E123

講演題目：旋回流燃焼器における液体アンモニア噴霧燃焼時の保炎可能範囲および燃焼生成ガス特性

○奥 航平(東北大), 山下 裕史, Somarathne, Kunkuma, 工藤 琢, 早川 晃弘, 小林 秀昭

講演番号：E211

講演題目：紫外レーザーによる光改質を用いた着火性向上の可能性探究

○柿澤 昂志(東北大), 佐川 和孝, 手塚 卓也, 森井 雄飛, 中村 寿, 丸田 薫

講演番号：A123

講演題目：自動データ生成によるCNNベースの気泡検出 (PEM水電解への応用)

○遠山 航平(横国大), 朝岡 洸太, 諏訪 秀樹, 荒木 拓人

講演番号：I131

講演題目：水のプール沸騰におけるマクロ液膜の挙動と大きな乾き面の形成

○田村 亮太(九州工大), 矢吹 智英

講演番号：B135

講演題目：溝付きテイラー・クエット流れにおける乱流熱流動のラージ・エディ・シミュレーション

○天野 由視(阪公大), 桑田 祐丞, 金田 昌之, 須賀 一彦

以上

学会賞委員会

委員長 渡邊 裕章 (九州大学)

第 101 期 熱工学部門学会賞委員会 活動報告

委員会構成 委員長 渡邊 裕章 (九州大学, 燃焼)
 幹事 武藤 昌也 (名城大学, 燃焼)
 委員 (覆面) 伝熱 2 名, 燃焼 3 名, 熱物性 2 名 計 8 名

活動報告

5 月 22 日 第 100 期当該委員会 伏信前委員長より 活動内容の引継ぎ@online
 委員長・幹事で online 等にて作業内容について情報共有

5 月中 学会賞委員会 委員の選定
 ・委員会：作業内容について情報共有(対象者の資格確認等)
 ・公募前に予め委員に推薦論文の選定を依頼(引継ぎ注意事項より)

6 月 1 日 部門インフォメーションメールにて部門推薦(自薦・他薦)の募集
 締切 2023 年 6 月 26 日(月)(必着)

6 月 26 日 部門インフォメーションメールにて募集期間延長を告知
 締切 2023 年 7 月 3 日(月)(必着)

7 月 3 日～7 月 19 日 推薦案件の選定

7 月 19 日～7 月 26 日 推薦書類の確認, 修正

7 月 26 日 書類提出(電子メール添付及びファイル共有サーバにて学会事務局に提出)

推薦件数

<input type="checkbox"/>	日本機械学会賞(技術功績)	0 件
<input checked="" type="checkbox"/>	日本機械学会賞(論文)	4 件
<input checked="" type="checkbox"/>	日本機械学会賞(技術)	1 件
<input checked="" type="checkbox"/>	日本機械学会奨励賞(研究)	5 件
<input type="checkbox"/>	日本機械学会奨励賞(技術)	0 件
<input type="checkbox"/>	日本機械学会教育賞	0 件
<input type="checkbox"/>	日本機械学会優秀製品賞	0 件

申し送り

- 動き出しは, 機械学会のインフォメーションメールより前でも可.
- 委員会活動は online 会議とメールベースで実施.
- 今年度は, 1 週間の募集期間延長を実施. 内訳は, 昨年度より 4 件減少(学会賞(論文) 1 件減, 学会賞(技術) 1 件増, 奨励賞(研究) 4 件減).
- 昨年度より, 推薦案件を 1 件ずつ学会の表彰部会へ online システムを通じて提出することになり, 提出作業に時間を要する. 但し, 推薦案件が 10 件を超える場合は, 一括してメール添付で提出でき, 今年度は該当した為, メール添付とファイル共有サーバを利用して提出.
- 推薦案件を一括してメール添付で提出する場合も, 指定された書類以外のファイルは提出後事務局にて確認の後, 修正・再提出依頼有.

今年度は学会賞(論文)4 件, 学会賞(技術)1 件, 奨励賞(研究) 5 件修正依頼有, 候補者に連絡の上再提出.

以上

年次大会委員会

委員長：向笠 忍（愛媛大学）
幹事：井上 修平（近畿大学）

<2024 年度年次大会 概要>

日程：2024 年 9 月 8 日（日）～ 11 日（水）
場所：愛媛大学 城北キャンパス
大会委員長：愛媛大学 教授 岡本 伸吾
顧問：愛媛大学 学長 仁科 弘重
実行委員長：愛媛大学 教授 松下 正史
キャッチフレーズ：「機械工学で実現する日本産業変革」
テーマ：「AI を活用したデジタル変革」「環境にやさしいエネルギー変革」「未来を担う技術人材の育成」
特別講演：檜垣幸人氏（今治造船株式会社代表取締役社長）
岡田武史氏（株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長）

<部門共催 OS（8 件）>

J031 燃料電池・二次電池とナノ・マイクロ現象

（材料力学部門，マイクロ・ナノ工学部門，熱工学部門，計算力学部門，動力エネルギーシステム部門，流体工学部門）

オーガナイザ 佐藤 一永（東北大学）
鹿園 直毅（東京大学）
徳増 崇（東北大学）
田部 豊（北海道大学）
杵淵 郁也（東京大学）
村松 眞由（慶應大学）

J051 マイクロ・ナノスケールの熱流体現象

（流体工学部門，熱工学部門，マイクロ・ナノ工学部門）

オーガナイザ 米村 茂（中部大学）
菊川 豪太（東北大学）
山口 浩樹（名古屋大学）
鈴木 雄二（東京大学）

J071 カーボンニュートラル社会に向けたエネルギー変換技術

（エンジンシステム部門，動力エネルギーシステム部門，熱工学部門）

オーガナイザ 中原 真也（愛媛大学）
岩本 幸治（愛媛大学）
向笠 忍（愛媛大学）
野村 信福（愛媛大学）

J091 環境保全に向けた熱・流体およびプラズマ研究

（環境工学部門，熱工学部門）

オーガナイザ 奥村 幸彦（香川大学）
水野 論（近畿大学）
坂東 茂（電力中央研究所）
野村 信福（愛媛大学）

J121 1DCAE・MBD と物理モデリング

(設計工学・システム部門, 機械力学・計測制御部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門)

オーガナイザ 大富 浩一 (Ohtomi Design Lab.)
 山崎 美稀 (日立ハイテク)
 脇谷 伸 (広島大学)
 野間口 大 (大阪大学)
 岩田 宜之 (東芝インフラシステムズ)
 後藤 恵一 (鉄道総合技術研究所)
 西田 怜美 (インテグレーションテクノロジー)
 畑 陽介 (ブラザー工業)
 福江 高志 (金沢工業大学)

J181 交通・物流機械の自動運転

(交通・物流部門, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 機械材料・材料加工部門, 技術と社会部門, 産業・化学機械と安全部門, 法工学専門会議, 設計工学・システム部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 熱工学部門, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門, 生産加工・工作機械部門, 生産システム部門, 情報・知能・精密機器部門)

オーガナイザ 高田 一 (中部大学)
 西村 秀和 (慶應義塾大学)
 中野 公彦 (東京大学)
 綿貫 啓一 (埼玉大学)
 ポンサトーン ラクシンチャラーンサク (東京農工大学)
 林 隆三 (東京理科大学)

J222 機械工学に基づく細胞アッセイ技術

(マイクロ・ナノ工学部門, 流体工学部門, 熱工学部門, バイオエンジニアリング部門)

オーガナイザ 元祐 昌廣 (東京理科大学)
 出口 真次 (大阪大学)
 須藤 亮 (慶應義塾大学)
 横川 隆司 (京都大学)
 鈴木 宏明 (中央大学)
 木村 啓志 (東海大学)
 杉田 修啓 (名古屋工業大学)
 武石 直樹 (京都工芸繊維大学)

J241 医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発

(医工学テクノロジー推進会議, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 機素潤滑設計部門)

オーガナイザ 中里 裕一 (日本工業大学)
 宮田 昌悟 (慶應義塾大学)
 甲斐 義弘 (東海大学)
 塚本 哲 (防衛大学校)

<部門同好会>

4 部門合同を企画中

以上

環太平洋熱工学会議委員会

委員長： 店橋 護（東京工業大学）
幹 事： 津島将司（大阪大学）

1. 委員会メンバー

委員長：店橋 護（東京工業大学）
幹 事：津島将司（大阪大学）
委 員：深淵康二（慶応義塾大学，第2回 PRTEC 幹事）
来期以降，準備状況に応じて委員会構成は変更予定。

2. 第3回環太平洋熱工学会議の開催について

2020年度(2021年3月)に韓国にて開催予定であった日韓熱流体会議が2022年度(2022年4月以降)に延期され，未だ開催の目途が立っていないこと，2022年度に南アフリカにて開催予定であった国際伝熱会議が2023年度に延期されていること等を鑑み，第3回会議の開催年を2024年に延期することについて，ASTFE及びKSMEに打診し，開催年を2024年12月以降とすることで合意していた。

第2回会議会期中（2019年12月）の会合での合意事項に基づき，第3回会議の予定ホスト・ソサエティであるASTFEに開催年を2024年12月の開催を打診したが，2023年3月26日に開催されたASTFEのボードミーティングにおいて，ASTFEはホスト・ソサエティを断念するとの結論に至ったとの連絡を受けた。これを受けて，同じく第2回会議会期中（2019年12月）の会合での合意事項に基づき，KSMEにホスト・ソサエティとして第3回会議を企画・開催することの可否を照会したが，KSME主催ではハワイ周辺での開催が不可能とのことで，JSMEが再び企画することとなった。

米国におけるホテル宿泊費、F&B 契約における最低額が極めて高騰していることから，従来のPRTECで採用していたホテルでの会議開催を断念し，国際会議場等を開催場所とした通常の国際会議形式での開催とした。機械学会本部に国際会議開催届_熱工学 PRTEC2024を提出済み。開催概要は次のとおり。

会期：2024年12月15日～12月19日
会場：ハワイ・コンベンション・センター

3. 開催までの主要日程の見通し

1st announcement	March, 2024
Website open	March, 2024
Track, Topics and Track chairs are fixed	April, 2024
Plenary lectures are fixed	April, 2024
2nd announcement (Call for Papers)	April, 2024
Keynote lectures are fixed	May, 2024
Abstract for review due	June, 2024
Extend abstract for review due	August, 2024
Deadline for early-bird registration	October, 2024
Deadline for late registration	November, 2024

4. 委員会委員の追加について

ASTFE側およびKSME側との調整状況や第3回会議の準備状況などに応じて環太平洋熱工学会議委員会に委員を追加する。

5. 日本側各種委員会について

第3回会議の会議形態に関する ASTFE および KSME との調整状況を考慮に入れながら、Organizing Committee, International Scientific Committee, Executive Committee 等の構成について検討を進めている。

以上

JSME-KSME 合同会議委員会

委員長： 小宮 敦樹（東北大学）
幹事： 元祐 昌廣（東京理科大学）

第 11 回日韓機械学会合同・熱流体国際会議 The Eleventh JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference

1. 開催時期

2025 年秋季

会場の空き状況から以下の 3 候補を検討中

- ・ 2025 年 10 月 1 日（水）-7 日（火）のうち 4 日間
- ・ 2025 年 10 月 10 日（金）-31（金）のうち 4 日間
- ・ 2025 年 11 月 1 日（土）-6 日（木）のうち 4 日間

* 秋季に開催予定の関連会議の開催日を要確認

2. 開催場所

沖縄コンベンションセンター

〒 901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1 <https://www.oki-conven.jp/>

3. 体制

日本側	熱工学部門	小宮 敦樹（東北大学, Chair） 元祐 昌廣（東京理科大学, Secretary General）
	流体工学部門	渡邊 聡（九州大学, Co-Chair）
韓国側	流体工学部門	Prof. Jung-II Choi（Yonsei University, Chair）
	熱工学部門	Prof. Jaeseon Lee（UNIST, Co-Chair）

4. 2023 年度の活動

2023 年 11 月	日韓 4 部門の代表者, 担当者を決定 開催候補地の決定, 会場仮予約
2024 年 2 月	韓国側代表者に開催内容概要を打診 日本側の Executive Committee 発足の準備
2024 年 3 月	TFEC11 第 1 回合同実行委員会に向けた検討会を開催予定 PL 講演者の決定, ホームページ立ち上げ

5. 開催規模

<基本>TFEC9（2017 年：沖縄）を踏襲

- ・ 想定参加人数 750 名（一般 400 名, 学生 350 名）
- ・ 参加登録費(予定)
 - 一般 Early : 70,000 円
 - 一般 Late : 80,000 円
 - 一般 Onsite : 90,000 円
 - 学生 Early : 30,000 円
 - 学生 Late : 35,000 円
 - 学生 Onsite : 40,000 円
- ・ 予算規模 約 40,000,000 円（バンケット費用含む）
- ・ プレナリ講演 JSME/KSME TED/FED より各 1 名の 計 4 名
- ・ 一般講演 約 480 件を 6 パラレルセッションで 3 日間
- ・ OS 全体で 25-30 を検討（TED 独自 / FED 独自 / TED&FED）
- ・ 組織構成 Advisory / EC / LOC
- ・ 実行委員(EC) TED および FED から 15 名程度を検討（30 代後半-50 代前半）

6. 暫定スケジュール

2023.11	実行委員会立ち上げ
2023.12	KSME 側と擦り合わせ
2024.03	第1回のフライヤー配布, HP 立ち上げ, 告知開始
2024.05	第2回のフライヤー配布
2024.10	第3回のフライヤー配布
2025.02 末	アブストラクト 〆 切 (*コピーライトフリーとする)
2025.03 末	アブストラクト採否通知
2025.05 末	Full paper 〆 切
2025.06 末	査読結果, 論文採択通知
2025.07	最終原稿 〆 切
2025.11	TFEC11

7. 参考

これまでの開催

TFEC7	2008年10月13日-16日@札幌
TFEC8	2012年3月18日-21日@韓国・松島
TFEC9	2017年10月27日-30日@沖縄,
TFEC10	2021年3月に釜山で開催予定→延期の後, 中止が決定

JTST 委員会

委員長： 高橋 周平（岐阜大）
幹事： 桑名 一徳（東京理科大）

1. 掲載状況（2024年3月13日現在）

Vol. 1,	No. 1 (pp. 1~41) :	4 件
	No. 2 (pp. 42~148) :	9 件
Vol. 2,	No. 1 (pp. 1~133) :	12 件
	No. 2 (pp. 134~300) :	15 件
Vol. 3,	No. 1 (pp. 1~166) :	16 件
	(2007 日米熱工学会議特別号 : Guest Editor = 花村克悟 (東工大))	
	No. 2 (pp. 167~380) :	17 件
	No. 3 (pp. 381~551) :	15 件
Vol. 4,	No. 1 (pp. 1~201) :	17 件
	No. 2 (pp. 202~323) :	11 件
	No. 3 (pp. 202~436) :	14 件
	(第 7 回日韓熱流体工学会議特別号 : Guest Editor = 近久武美 (北大))	
	No. 4 (pp. 437~517) :	8 件
	(第 2 回国際伝熱フォーラム特別号 : Guest Editor = 中別府修 (明治大))	
Vol. 5,	No. 1 (pp. 1~188) :	15 件
	No. 2 (pp. 189~341) :	11 件
Vol. 6,	No. 1 (pp. 1~202) :	17 件
	No. 2 (pp. 203~322) :	12 件 (Preface を含む)
	(第 7 回国際流体力学会議特別号 : Guest Editor = 圓山重直、小原拓 (東北大))	
	No. 3 (pp. 323~485) :	13 件
Vol. 7,	No. 1 (pp. 1~349) :	27 件
	(うち 10 件は第 3 回アジア計算熱流体シンポジウムからのセレクトドペーパー : Guest Editor = 須賀一彦 (大阪府立大)、芝原正彦 (阪大))	
	No. 2 (pp. 350~404) :	6 件 (Preface を含む)
	(第 8 回国際流体力学会議特別号 : Guest Editor = 圓山重直、小原拓 (東北大))	
	No. 3 (pp. 405~496) :	9 件
	(第 4 回マイクロスケール熱流体国際会議特別号 : Guest Editor = 高橋厚史 (九大)、鹿園直毅 (東大))	
	No. 4 (pp. 497~766) :	19 件
Vol. 8,	No. 1 (pp. 1~335) :	23 件
	No. 2 (pp. 336~447) :	10 件 (Preface を含む)
	(第 9 回国際流体力学会議特別号 : Guest Editor = 圓山重直、小原拓 (東北大))	
	No. 3 (pp. 448~612) :	12 件
Vol. 9,	No. 1 (JTST1~5) :	5 件
	No. 2 (JTST6~15) :	10 件
Vol. 10,	No. 1 (JTST1~20) :	20 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST21~28) :	8 件
Vol. 11,	No. 1 (JTST1~19) :	19 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST20~33) :	14 件
	No. 3 (JTST34~49) :	16 件 (Preface を含む)
	(First Pacific Rim Thermal Engineering Conference 特集号 : Guest Editor = 須賀一彦 (大阪府立大))	
Vol. 12,	No. 1 (JTST1~15) :	15 件 (1 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST16~38) :	23 件
Vol. 13,	No. 1 (JTST1~19) :	19 件
	No. 2 (JTST20~35) :	16 件

Vol. 14,	No. 1 (JTST1~13) :	13 件
	No. 2 (JTST14~29) :	16 件
Vol. 15,	No. 1 (JTST1~12) :	12 件
	No. 2 (JTST13~21) :	9 件 (Preface を含む)
	(Special Issue of The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow : Guest Editor-in-Chief= 芝原正彦 (大阪大))	
	No. 3 (JTST22~36) :	15 件
Vol. 16,	No. 1 (JTST1~13) :	13 件 (Preface を含む)
	(Special Issue of the Second Pacific Rim Thermal Engineering Conference : Guest Editor-in-Chief= 芝原正彦 (大阪大))	
	No. 2 (JTST14~31) :	18 件
	No. 3 (JTST31~41) :	11 件
Vol. 17,	No. 1 (jtst.21-00271~) :	11 件
	No. 2 (jtst.22-00051~) :	6 件 (Preface を含む)
	(Special Issue of The 11th International Symposium on Solar Energy and Efficient Energy Usage : Guest Editor-in-Chief= 山田昇 (長岡技科大))	
	No. 3 (jtst.22-00007~) :	14 件
Vol. 18,	No. 1 (jtst.22-00365~) :	5 件
	No. 2 (jtst.23-00182~) :	4 件
Vol. 19,	No. 1 (jtst.23-00148~) :	4 件

2. 編修委員会

Editor-in-Chief : 高橋周平 (岐阜大)

Editors : 矢吹智英 (九工大/日本伝熱学会推薦)、小糸康志 (熊本大)、
熊野寛之 (青山学院大)、小宮敦樹 (東北大)、桑名一徳 (東京理科大/幹事)、
戸谷剛 (北海道大)、黒瀬良一 (京都大)、岩井裕 (京都大)

Advisory Board : 山田昇 (長岡技科大)

3. 第 101 期特記事項

・投稿数について

Impact Factor は 1.17 となった。(昨年は 0.947、一昨年は 0.678)

投稿数はやや減少。採択論文数維持には特集号の企画が必要。(詳細は下表)

・査読期間について

可決までの平均日数の目標値 (100 日) を達成できた。

年鑑委員会

委員長 村上 陽一（東京工業大学）
幹事 長澤 剛（東京工業大学）

以下の活動を行った。

1. 本委員会の概要及び活動内容

「機械工学年鑑 2023」の対象時期：2023 年 1 月～12 月。第 8 章「熱工学」の発刊が本部門の担当。

- ・2023 年 5 月、長澤 剛 先生（東京工業大学 工学院 助教）に年鑑委員会幹事をお引き受け頂いた。
- ・第 8 章の節構成は例年通りとした。
（参考、2022 年の同章：<https://www.jsme.or.jp/kikainenkan2022/chap08/>）
- ・6 月、長澤先生と手分けして各節の執筆候補者を探し、数度の意見交換を経て、執筆依頼先を決めた。その際、過去数年間の執筆者の実績を考慮し、流れは踏襲しつつバランスを取るよう努めた。その後、各節の執筆者として下記の方々に依頼を行い、執筆のご快諾を頂いた。

8.1 伝熱および熱力学

- 8.1.1 概説・・・鹿園 直毅 先生（東京大学）
- 8.1.2 熱物性・・・岡部 孝裕 先生（弘前大学）
- 8.1.3 伝熱・・・小宮 敦樹 先生（東北大学）
- 8.1.4 熱交換器・・・高橋 雄太 様（三菱重工業[†]）

8.2 燃焼及び燃焼技術

- 8.2.1 燃焼・・・林 潤 先生（京都大学）
- 8.2.2 燃焼技術・燃料・・・田中 光太郎 先生（茨城大学）

[†]総合研究所、伝熱研究部、伝熱第一研究室主任、技術士

- ・2024 年 1 月 正式な執筆依頼がなされた。

2. 発刊までの今後の予定

- 2024 年 4 月 原稿締切
- 2024 年 5 月 原稿査読
- 2024 年 7 月 著者校正
- 2024 年 8 月 発刊

以上

出版委員会

委員長	熊野寛之 (青山学院大学)
幹事	寺岡喜和 (金沢大学)
委員	石井慶子 (青山学院大学)
委員	仮屋圭史 (佐賀大学)
委員	藏田耕作 (九州大学)
委員	地下大輔 (東京海洋大学)
委員	光石暁彦 (大阪電気通信大学)
委員	森本崇志 (青山学院大学)

1. 委員会の開催

ウェブサイト「熱工学ギャラリー」(<https://g.ted-jsme.jp/>)の更新と運営, 動画発表セッション「熱工学コレクション 2023 (熱コレ 2023)」の開催に関して, 伝熱シンポジウム開催中に会議を実施した。また, 適宜, 必要に応じてメール会議を行った。

2. 熱工学ギャラリーの更新

講演者の希望に応じて, 熱工学コレクションで発表いただいた動画をウェブサイト「熱工学ギャラリー」に掲載した。継続的にコンテンツ数および視聴回数を増やすことを当面の目標とする。今期, 熱工学ギャラリーとして YouTube チャンネルを開設 (<https://www.youtube.com/@user-zu1ww3bi6q>) することが部門会議で承認されたため, 現在掲載されている動画について, 了承を得たものについて「限定公開」から「公開」への設定変更を行った。

3. 熱コレ 2023 の開催

熱工学コンファレンス (10/14-15, 神戸) において動画発表セッション「熱コレ 2023」を企画し, 8 件の講演が行われた。熱コレ 2023 最優秀動画賞には「いくつかの気液界面流動を伴う熱流体现象の写真観察」が選ばれた。受賞者には, 懇親会にて熱工学コンファレンス実行委員長より表彰状が贈呈され, 受賞動画の上映を行った。

引き続き, 熱工学ギャラリーを充実させるためにも, 2024 年度の熱工学コンファレンスでも動画発表セッションを企画予定である。

以上

講習会委員会

委員長 巽 和也 (京都大学)
 幹事 網 健行 (関西大学)
 長谷川 洋介 (東京大学)

活動報告

1. 部門講習会

■ 講習会名 : No. 23-20

「機械学習×熱・流体工学の最先端」

企画 : 熱工学部門・流体工学部門・計算力学部門 合同企画

開催時期 : 2023年3月24日(金)

会場 : オンライン (Zoom Webinars)

WEBサイト : <https://www.jsme.or.jp/event/23-20/>

プログラム・演題・講師 :

11:00~12:30	機械学習の基礎	松岡 大祐	(海洋研究開発機構)
13:30~14:30	乱流×機械学習	塚原 隆裕	(東京理科大学)
14:40~15:40	沸騰・混相流×機械学習	古谷 正裕	(早稲田大学)
15:50~16:50	燃焼・エンジン×機械学習	山崎 由大	(東京大学)

参加者数 : 81名

■ 講習会名 : No. 23-63

『伝熱工学資料 (改訂第5版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用」

開催時期 : 2023年9月13日(水), 20日(水)

会場 : オンライン (Webex events)

WEBサイト : <https://www.jsme.or.jp/event/23-63/>

プログラム・講師 :

9月13日(水)

10:00~11:35	全体を見渡す話	花村 克悟	(東京工業大学)
13:00~14:35	熱放射の基礎	花村 克悟	(東京工業大学)
14:50~16:25	伝導伝熱の基礎	岩井 裕	(京都大学)

9月20日(水)

9:00~10:35	対流伝熱の基礎	西野 耕一	(横浜国立大学)
10:50~12:25	熱交換の基礎	鹿園 直毅	(東京大学)
13:30~15:05	沸騰熱伝達の基礎	上野 一郎	(東京理科大学)
15:20~16:55	温度測定	中村 元	(防衛大学校)

参加者数 : 32名

■ 講習会名 : No. 23-101

「熱工学ワークショップ2023」

開催時期 : 2023年10月14日(土)

会場 : 神戸大学 六甲台キャンパス 工学研究科 LR501 教室

熱工学コンファレンス 2023 会場

WEB サイト:<https://www.jsme.or.jp/event/23-101/>

プログラム・講師:

- 12:00～12:40 「パワーモジュールの信頼性に関する各種技術の紹介」
堀口 剛司 氏 (三菱電機株式会社)
- 12:40～13:20 「革新的 SOEC メタネーション技術が切り拓く
e-methane によるゲームチェンジへの挑戦」
大西 久男 氏 (大阪ガス株式会社)
- 13:20～14:00 「カーボンニュートラルに向けた暖房給湯ヒートポンプ技術の展開」
藤野 宏和 氏 (ダイキン工業株式会社)

参加者数:150～160 名

2. 部門講習会 (長谷川 委員長)

講習会名:「計算力学技術者 2 級 (熱流体力学分野の解析技術者) 認定試験対策講習会」

企画: 流体工学部門・計算力学部門・熱工学部門 合同企画

■ 行事 No. 23-71 平日コース

開催日: 2023 年 10 月 16 日 (月), 17 日 (火)

会場: オンライン

WEB サイト:<https://www.jsme.or.jp/event/23-71/>

プログラム・講師:

10 月 16 日 (月)

- | | | |
|-------------|---------------|-----------------|
| 10:05～11:25 | 計算力学のための数学の基礎 | 坪倉 誠 (神戸大学) |
| 11:35～12:55 | 流体力学の基礎 | 中 吉嗣 (明治大学) |
| 14:00～15:20 | 熱力学の基礎 | 伏信 一慶 (東京工業大学) |
| 15:30～16:50 | 伝熱学の基礎 | 保浦 知也 (名古屋工業大学) |

10 月 17 日 (火)

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 10:00～12:05 | 乱流モデル, 境界条件 | 小林 宏充 (慶應義塾大学) |
| 13:15～15:20 | 数値計算法, 格子生成法 | 守 裕也 (電気通信大学) |
| 15:30～17:00 | ポスト処理, 結果の検証 | 亀谷 幸憲 (明治大学) |

参加者数:42 名

■ 行事 No. 23-72 休日コース

開催日: 2023 年 10 月 21 日 (土), 22 日 (日)

会場: オンライン

WEB サイト:<https://www.jsme.or.jp/event/23-72/>

プログラム・講師:

10 月 21 日 (土)

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| 10:05～11:25 | 計算力学のための数学の基礎 | 大森 健史 (大阪公立大学) |
| 11:35～12:55 | 流体力学の基礎 | 茂田 正哉 (東北大学) |
| 14:00～15:25 | 熱力学の基礎 | 芝原 正彦 (大阪大学) |
| 15:35～16:50 | 伝熱学の基礎 | 岩井 裕 (京都大学) |

10 月 22 日 (日)

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| 10:00～12:05 | 乱流モデル, 境界条件 | 桑田 祐丞 (大阪公立大学) |
|-------------|-------------|----------------|

13:15~15:20 数値計算法, 格子生成法

15:30~17:00 ポスト処理, 結果の検証

山川 勝史 (京都工芸繊維大学)

小田 豊 (関西大学)

参加者数 : 29 名

以上

熱工学コンファレンス 2024 実行委員会

委員長：三上 真人
幹 事：田之上健一郎

1. 準備状況

■ 実行委員会

委員長：三上 真人（山口大学）
幹事：田之上健一郎（山口大学）
委員：白石僚也，坂野文菜（山口大学），結城和久，結城光平（山口東京理科大学）

■ 熱工学コンファレンス2024 開催日時・会場

開催日：2024年10月5日（土），6日（日）
会場：KDDI 維新ホール（新山口駅前，山口市小郡令和一丁目1番1号）

■ 熱工学ワークショップ

開催日：2024年10月5日（土）初日昼休みから2時間程度
講習会委員会と協議（予定）

■ 特別講演

開催日：2024年10月5日（土）
演題：ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～（仮）
講師：桜井 博志（旭酒造株式会社・会長）

■ 部門賞・部門一般表彰贈呈式

開催日：2024年10月5日（土）特別講演後

■ 懇親会

開催日：2024年10月5日（土）19時から
会 場：KAMEFUKU ON PLACE（山口市湯田温泉 4-5-2）
※KDDI 維新ホール ⇄ 湯田温泉間は朝夕シャトルバス運行予定

■ 参加費等 参加登録費〔講演論文集（ダウンロード版）を含む〕

正員(不課税)：11,000円（早期），14,000円（後期）
会員外(課税)：14,000円（早期），17,000円（後期）
学生員(不課税)・一般学生(課税)：6,000円（早期），9000円（後期）
懇親会会費
正員，協賛学会員，会員外一般：10,000円（早期），12,000円（後期）
学生：5,000円（早期），7,000円（後期）

■ ホームページの開設

2024年3月末にホームページを公開
・URL： <https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf24/index.html>
・事務局メールアドレス： tedconf24@jsme.or.jp

■ オーガナイズドセッション（OS）の募集開始

3月中に募集開始

■ 熱工学コレクション2024（熱コレ）

出版委員会と協議（予定）

2. 今後の予定

- ・5月30日：講演申込受付開始
- ・6月14日：講演申込受付締切
- ・8月16日：講演原稿提出締切

・9月13日：早期参加登録締切

以上